

1 はじめに

毎年11月頃に、関前地区人権・同和教育懇談会を小中合同で開催し、授業を公開している。ここ数年は「みんななかよし集会」を開き、保護者及び地域の方に参観していただいている。

2 実践例**(1) 人権標語の発表**

一人一人の児童が、人との関わりで、どんなことを大切にしたいかじっくりと考えた。その後、心に浮かんだことを言葉に表現し、標語という形にまとめたところ、友達を大切に思う心があふれた作品に仕上がった。そして、保護者や地域の方にその人権標語を考えた理由と標語を紹介した。



人権標語の発表

(2) 全校合唱

「フレ！フレ！大丈夫！」という曲をみんなで合唱した。悩む人のそばにそっと寄り添い、励ます気持ちが込められた歌詞の意味をしっかりと味わうことができ、参観されている方々の心に届くような歌声であった。



全校合唱

(3) 全校発表

「子犬のうんち」という韓国の絵本の話を読んだ。だれの役にも立っていないと思っていた主人公が、自分もだれかに貢献できていることに気付く場面では、それぞれの登場人物の気持ちになりきり、気持ちを込めて朗読することができた。また、動作も取り入れることで、より登場人物の気持ちに寄り添うことができた。

朗読発表の後、タンポポの優しさについて感想を述べる児童が多かったが、「僕も岡村小の中で役に立っていると思う。これからもみんなのためにがんばりたい。」といった、自己肯定感をもち、前向きに生活していこうという思いを発表した児童もいた。

参観者からは、「毎年楽しみにしており、必ず来ています。今年もすごく感動しました。」と賞賛の言葉をいただいた。



朗読劇「子犬のうんち」

3 おわりに

本校の児童は、学習発表会等で、低学年から様々な経験をしてきているので、台詞を読むことにある程度慣れており、かなり長い台詞でも読みこなせる力が身に付いている。しかし、場に応じて臨機応変に発言したり、行動したりすることは苦手としている児童が多い。そこで、今後も自ら考え豊かに表現できる児童が育つような指導を継続していきたい。